

# 今、学校園がおもしろい!!

2020年3月19日

## 読書活動推進に向けて ～学校図書館を活用した授業が行われています!～

令和2年2月26日(水)大阪府教育センターにて、読書活動フォーラムが行われました。この大阪府教育庁主催のフォーラムは、その名の通り、学びを支え充実させるための読書活動を推進する目的で毎年行われています。

今年度は、府が指定した「学校図書館を充実・活用するためのモデル小学校」である2校の取組みが発表されました。本市では、中央小学校がモデル校の指定を受け、学校図書館の有効活用に向けて取組みを進めてきました。中央小学校の1年間の取組みをいくつか紹介します。

### 【こども司書に認定】

5月14日(火)6時間目、図書委員会の活動に、市立中央図書館の図書館司書さんたちがゲストティーチャーとして来てくれました。図書委員会の子どもたちが「こども司書」となり活動を広げていくために、市立中央図書館に協力を依頼し、実現したものです。

当日は、司書さんから「日本十進分類法」に基づいた本の整理の仕方を教えていただいたり、本の修理の実演を見せてもらい、その後は自分たちでも実際にやぶれた本の修理を行いました。

最後には、中央図書館の館長さんから「認定証」をもらい、この日から、こども司書としての1年間の活動をスタートさせました。

司書さんから「本の修理の仕方を学ぶのも大切だけど、まずは本をやぶらないように、大切に扱うよう呼びかけていってね。」と声をかけられた子どもたちは、自分たちの任務を自覚し、「がんばろう」の決意を胸に活動をスタートさせました。



「本の修理の仕方を学び中」



「こども司書認定証」1年間がんばってね!

### 【読書感想文書き方講座開催】

夏休みの宿題の定番である「読書感想文」ですが、書き方に悩む子どもたちも多いのではないのでしょうか。そんな子どもたちのために、6月4日(火)2、3、4時間目、市立中央図書館の図書館司書さんが3名来校し、5年生3クラスで読書感想文の書き方を教えてくれました。

「読書感想文を書く準備ってなんだと思う?」という司書さんの問いに、初めは「え?」という子どもたちでしたが「もちろん、本を読むことです!」という答えに納得。その後は、原稿用紙にいきなり書くのではなく、①選んだ理由、②本の内容(あらすじ)、③気になったところ等、順番にメモを書いていくと良いと教えてもらいました。また、読書感想文を書くときは、先生とクラスの友だちが読むことを意識して、その人たちに説明すると思って書くと良いということも教えてもらいました。真っ白な原稿用紙を渡されると何を書いていいのか戸惑ってしまう子どもたちも、メモの項目に順番に答えていく形なら大丈夫!感想文を書きたい本を持ち寄っていた子どもたちは、一度は読み終えた本を何度も見返しながら、集中してメモを書いていました。1時間の中ではメモは完成しませんでしたでしたが、書き方のコツはつかめたのではないのでしょうか。

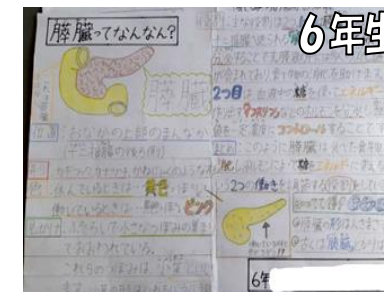


### 【学校図書館の活用と主体的な学び】

1年間を通して、すべての学年がさまざまな教科で図書館を使った学習を行いました。3年生では、社会科「昔の道具と人々の暮らし」の単元で図書館を利用しました。昔の道具について、まずはポスターを見て今の道具との違いを知り、次に「歴史館いずみさの」へ行き、実際の道具を見て学びました。さらに、自分が一番調べたい道具について、図書館の資料を使って調べる学習を行いました。



グループで相談したり、自分が調べたことを図や文章にまとめたりし、最後にみんなの前で発表しました。自分で選んだ道具を調べるとあって、それぞれが興味を持って意欲的に取り組み、発表を聞き合うことで互いの学びを深めることができました。子どもたちからは、「たらいは日本のものだと思っていたのに、実は外国から来たものだと図書館の本を読んでわかった」「年表を見て、洗濯機がどのように進化してきたのか理解することができた」「授業で調べていない道具ももっと調べたくなった」など、社会科の学習に主体的に取り組めたことがよくわかる感想が聞かれました。



1年生では、図工で図書資料を活用しました。1冊の絵本のお話をもとにして、図鑑を見たり、他の絵本を読んだりして、海の世界の想像を膨らませて絵画の制作をしました。また、6年生では理科「ヒトや動物の体」の単元で、ヒトの内臓の働きについて調べ学習を行いました。

このように学年ごとに工夫した取組みが行われました。子どもたちの主体的な学びを育むために、授業における学校図書館の活用は欠かせないと感じさせてくれる1年間の取組みとなりました。次年度も、継続してさらに取組みを深めてくれることを期待しています。